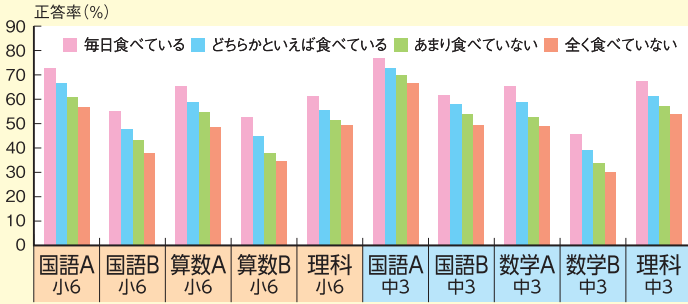


福島県の子どもたちの食に関わる現状

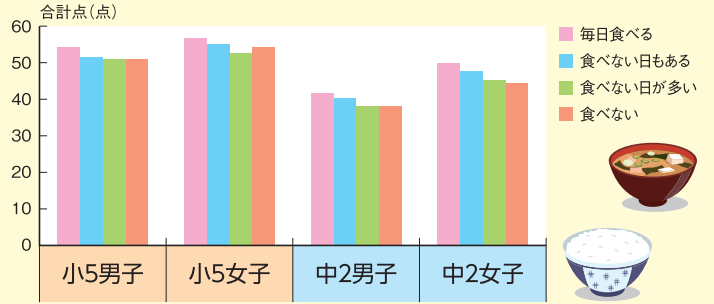
朝食摂取と学力との相関

毎日朝食をとる子どもほど正答率が高くなっています。



朝食摂取と体力合計点との相関

毎日朝食をとる子どもほど合計点が高くなっています。



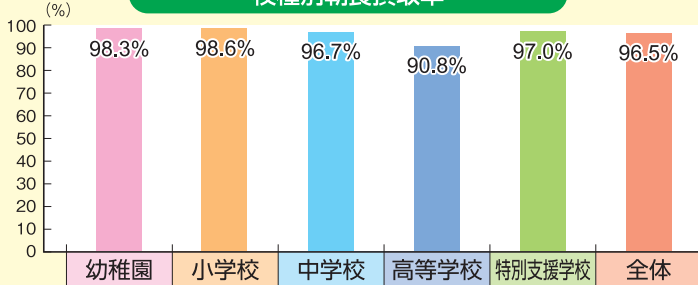
朝食摂取の状況

※「朝食について見直そう週間運動」の最終日で調査しています。県では、11月の朝食摂取率を各年度の実績として、平成32年度の目標値を97.2%以上としています。

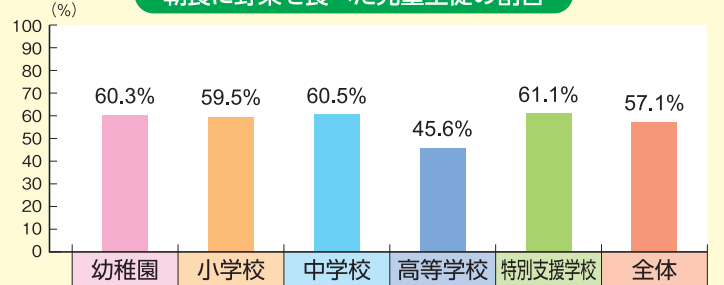
朝食摂取率は全ての校種で90%以上となっています。食事内容については、偏りが見られます。

「朝食の重要性」自分手帳食生活10～11参照

校種別朝食摂取率



朝食に野菜を食べた児童生徒の割合



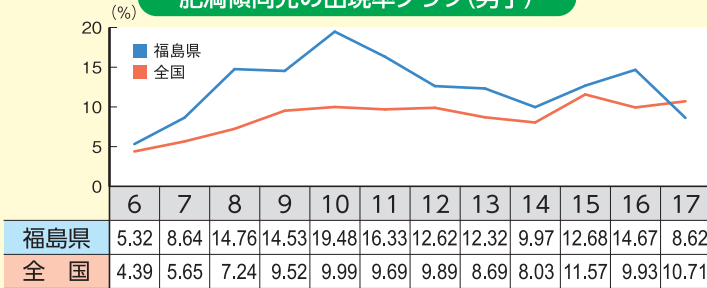
児童生徒の肥満傾向

※肥満傾向児出現率とは以下の式から肥満度を求め、肥満度20%以上の児童生徒の割合。肥満度=(実測体重-身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100%

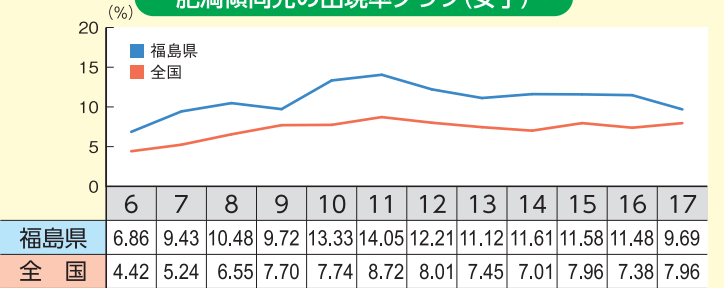
本県の肥満傾向児出現率(肥満度20%以上)は、男子17歳を除いて全ての年齢で全国の割合を上回っています。

「肥満予防」自分手帳食生活2、14参照

肥満傾向児の出現率グラフ(男子)



肥満傾向児の出現率グラフ(女子)



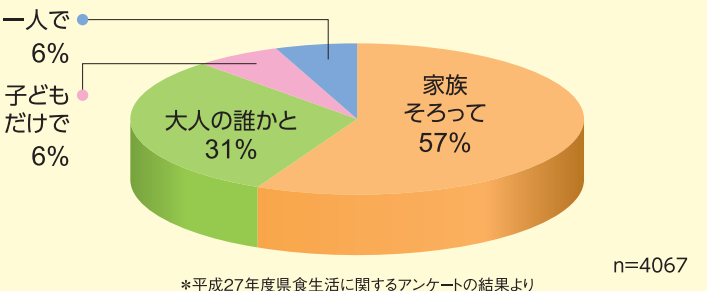
共食の状況

※平成27年度県食生活に関するアンケートは、栄養教諭の所属校35校の児童生徒(小学校3・5年生、中学校2年生)を対象に実施しました。

家族や大人と一緒に夕食を食べている児童生徒は、主食・主菜・副菜・汁物の4種類を食べている割合が、一人や子どもだけで食べている児童生徒より高くなっています。

「共食のよさ」自分手帳食生活17参照

夕食をともに食べる家族



ともに食べる家族と食事内容

